

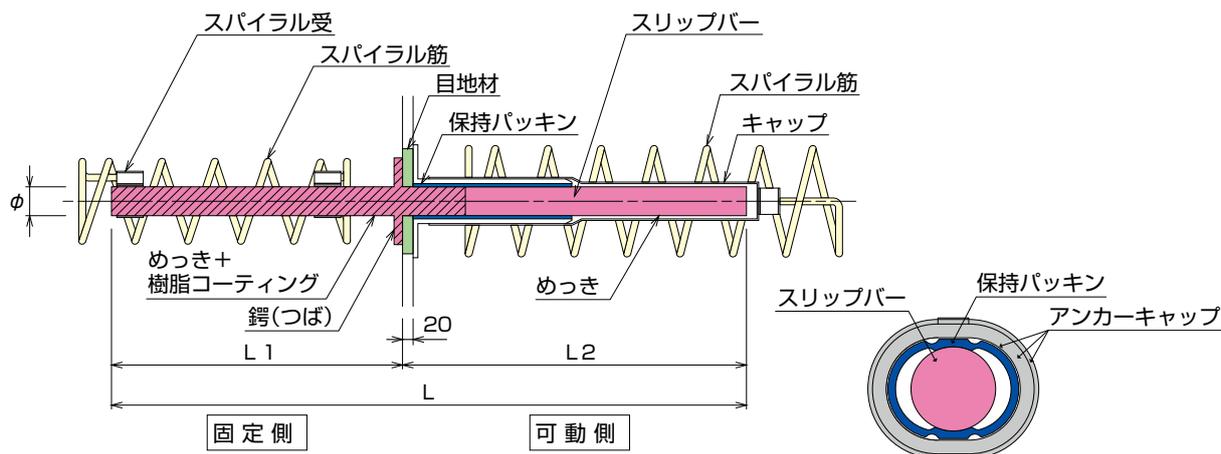
ST式防蝕スリッパ

はじめに

構造物継手部には、構造物間にズレを生じさせないようにスリッパを設置することが多く、特に沈埋トンネルの陸上トンネル部や立体交差部などズレにより交通に支障をきたしてはならない重要構造物に使用されています。

ST式防蝕スリッパは従来の簡易なスリッパを改良して、本来必要とされる機能を充実させた製品です。この製品は鋼棒を正確にキャップの中心に設置できるため、鉛直せん断力を負担する部分(側壁部)と水平せん断力を負担する部分(上・下床部)で独立した応力分担をさせることができます。また、スリッパにはめっき+樹脂コーティングがされており電蝕等の腐蝕を防止できる製品です。

製品断面図



標準仕様

名称	材質	備考
スリッパ	SS400	JIS規格品
アンカーキャップ	FRP	JIS規格品
	FCD450	
保持パッキン	合成ゴム	
スパイラル受	FRP	
スパイラル筋	SD295又は345	JIS規格品
目地材	SBRスポンジ	

※スリッパには、めっき及び樹脂コーティングを施す。

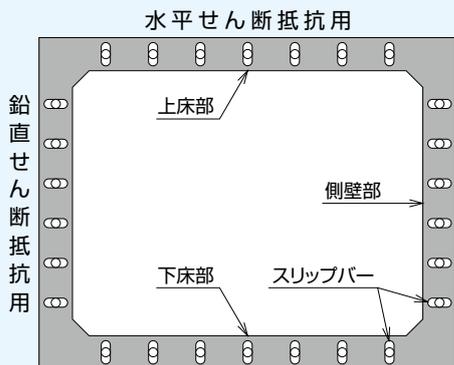
ϕ	L	L1	L2
$\phi 42$	940	420	520
$\phi 55$	1200	550	650
$\phi 65$	1400	650	750
$\phi 75$	1600	750	850
$\phi 80$	1700	800	900
$\phi 90$	1900	900	1000
$\phi 95$	2100	950	1150
$\phi 110$	2400	1100	1300
$\phi 130$	2800	1300	1500

特長

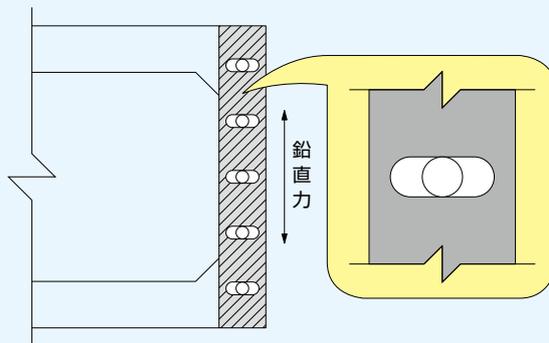
1. 鉛直せん断力と地震時水平力を別々の鋼棒で受け持つ為、独立した応力分担が計画できます。(函体の軸力は伝達されない)。
2. 鋼棒全面にめっき処理を施している為、防蝕効果が大きく、さらに固定側には樹脂コーティングを施す為、電蝕を防止できます。
3. 目地部の小口には錨(つば)が付けられている為、コンクリートの圧壊が防止できます。

ST式防蝕スリッパ

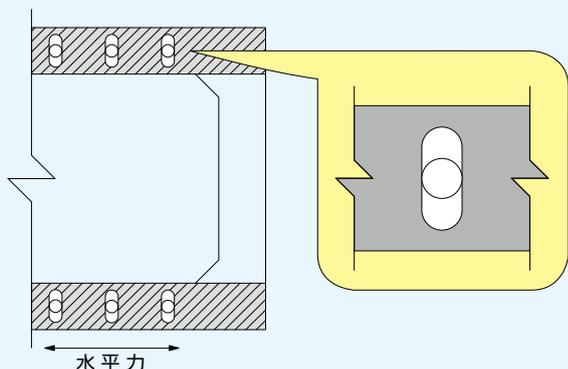
■ 構造物断面図と機能



- 鉛直せん断力を負担する範囲。斜線部が負担する。水平方向はアンカーキャップに遊間を設けて、水平力が作用しない構造とする。

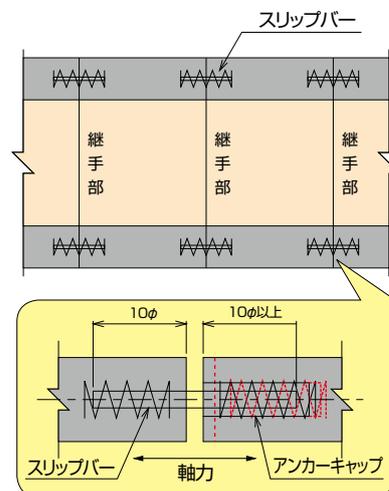


- 水平せん断力を負担する範囲。斜線部が負担する。鉛直方向はアンカーキャップに遊間を設けて、鉛直力が作用しない構造とする。



■ 構造物平面図と機能

- 軸力（引張力）に対してスリッパがキャップの中を移動できる構造である為、函体の移動に対して破線の状態になり軸力は伝達されない。



■ 施工例



FTK 東京ファブリック工業株式会社

支店

札幌 盛岡 仙台 宇都宮 新潟 東京 横浜 名古屋
金沢 京都 大阪 高松 広島 福岡 鹿児島



お問い合わせ先

本店

〒163-0429 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル29階
URL : <https://www.tokyo-fabric.co.jp/>